

えりもしやくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525

http://www.town.erimo.lg.jp/section/

kyouiku/sg6h94000000pqh.html

～えりも高校生の進路講話～

3名の先輩が熱く語る

木村 巨君は事情により参加できず

講話 3年 鎌田 奈央さん

○えりも漁業協同組合内定

- ・高校2年生の秋のインターンシップで職場体験
- ・人を喜ばせたい、町の漁業に貢献したいという思い
- ・試験は筆記、作文、面接で、筆記試験は国語・数学
- ・自分が何に貢献したいかについて自己分析したこと
- ・課外活動や探究活動にも力を入れたこと、風極プロジェクト同好会に入部
- ・探究活動では、えりも町のアピールや、率先して話を切り出し、役場や学校の人と協力して解決策などを探究したこと
- ・結果として、人と関わる中でコミュニケーションがどれほど重要なのかを実感したこと
- ・力をいれてほしいことは面接練習、自分の考え方、相手方を比較したり、「自分はこのように失敗している」といった新たな発見を探してほしい

講話 3年 中川 星さん

○ANA・FESTA株式会社内定

- ・就職を目指したきっかけは、高校1年の時、進学か就職か決めなければならなかったこと
- ・ANAを選んだ理由は、空港と言う特別な場所で人々の旅を支える仕事に魅力を感じたこと。旅の大切な時間の思い出の一部としてサポートできることにやりがいを感じたこと
- ・試験は、筆記試験と面接、高校レベルの数学や国語の問題
- ・高校で授業では学べないことを、アルバイトを通じてたくさんを学んだ
- ・総合の探究の時間では、SDGsを調べる中で、電話対応や訪問のスキルを身に付けた
- ・就職では「準備をしっかりとすること」「周りの人を頼ること」
- ・試験内容をよく確認し、必要な勉強をまれなく進めること
- ・困ったことがあれば、先生や家族にどんどん相談を、今できることを全力で頑張りたい
- ・自分の将来について考えてほしい



2025/02/17 11:24

進路決定に至った理由を語る中川 星さん



2025/02/17 11:35

中学生に熱く語った鎌田、中川、齊藤先輩

講話 3年 齊藤 慶太さん

○北海道科学大学合格

- ・小さい頃から理学療法士を目指す
- ・数学や英語などの基礎が大切な教科だが力を入れてこなかったことに後悔
- ・試験内容は面接と数学
- ・アドバイス3つ
 - ①中学生のうちから学習習慣をつけておくこと。英語は社会に出てからも色々な場面で活躍すること
 - ②部活動など色々なことに挑戦してほしい。新しい自分を知るきっかけになり、結果的に将来の自分の役に立つこと
 - ③今やりたいことをやること。なぜなら、高校では勉強が中心。勉強を疎かにしない、勉強をしないとどこにも行けない

講話 3年 木村 亘さん
○獨協大学外国学部英語学科合格

- ・最も大切なことは、「すぐ志望先を決め準備を始めること」。
- ・受験方式は、総合型選抜だったこと。
- ・一般推薦とは違い、大学側が提示する資格や検定の条件を満たすことが必要。この大学では英語の資格に一定の基準があること（英検2級以上）。
- ・受験内容は小論文と面接。小論文は字数が決められ少ない字数であったこと。
- ・放課後、ALTさんにお話し1対1の会話練習をしたこと。小論文も面接も、たくさん練習することが不可欠。

**先輩方の背中をみて
中学生が感想**

中学1年 諸橋 鈴歌さん

進路講話に来てくださった3名の話聞いて大切だと感じたことは、まだ余裕があるからといって、勉強をしなかったり、気を抜いたりしないということです。

なぜなら、斎藤慶太さんが自分の実体験を話していた時、今の自分と比べてみたところ、同じだったからです。なので、早めのうちから学習の習慣をつけることは大切だと学びました。

最後に、将来何かを選択するときどうすればいいのか、今回の機会を通して学ぶことができました。



真剣にメモを取って話を聞いていました。

中学2年 大江 紀衣さん

北海道科学大学を決めた先輩は、中学生のうちにしたいことをたくさんすることも大切だと言っていました。

ANA FESTA株式会社を決めた先輩は、周りの人をよく頼り相談することが大切と言っていました。えりも漁業協同組合を決めた先輩は、コミュニケーションがどんなに大切かを改めて考えたと言っていました。

3人の先輩方の話を聞いて、将来何になりたいかを考えたことがなかったので、自分の好きなことを生かして、仕事について考えようと思いました。



2025/02/17 11:30

中学3年 川崎 心菜さん

勉強をあまりしていなかったもので、1日5分でも10分でも勉強して習慣をつけようと思いました。

学級四役や委員会など中学校で挑戦しなかったことがいっぱいあったので、高校では後悔しないようにいろいろなことに挑戦してみようと思った。

高校の面接のときに自分の考えや思いをうまく伝えることができなかったので、進学先での面接では同じことがないように、周りを頼っている人たくさん練習して、相手の考えと自分の考えを比べ、後悔しないようにしたいです。

- 本進路講話は、卒業する先輩であるえりも高校生が自らの中学生活や高校生活を振り返り、中学生に「これだけは大事」と、これからの学校生活についてアドバイスするものです。
- 今年当初の日程が合わず、小学6年生は参加できませんでしたが、先輩である高校生は、勉強の大切さや多くの友達との交流、進路を決めるための心構えなどについて、具体的に分かりやすく語ってくれました。
- えりも中学校の生徒一人一人は真剣にメモを取りながら耳を傾けていました。